

自他の考えを認め合い、自己のよさに気付くことのできる児童の育成

- ICTの活用で幅広く考えを知り、自己有用感を高める活動を通して -

特別研修員 生徒指導、教育相談 高橋 巧 (小学校教諭)

【目指す児童像】

自他の考えを認め合い、自己のよさに気付くことのできる児童

4年理科単元「とじこめた空気や水」

手立て3 「自分を見つめるシート」で自他の活動を振り返る

Cさんの振り返り

自分なりに よくできた⇒A できた⇒B つぎはがんばりたい⇒C どちらかに○をつけましょう。	
～見つめるポイント～	日づけ
	10/23
自分の考えが書けたよ (自)	A
友だちに考えを伝えられたよ (自)	B
友だちの考えが分かったよ (他)	B
友だちからのミトメイン (他)	高橋

友達の考えを見といていろいろわたくし書けとる予のがいろいろと思つた。その方がいろいろ勉強になるから、私もそんな考えをいろいろ書いていきたいと思つた。

児童が本時の自己の取組や他者との活動を振り返り、評価する。
「よくできた⇒A」
「できた⇒B」
「つぎがんばりたい⇒C」

自分を見つめることで、自己の成長を実感し、自信をもつことができる。
友達とより積極的に意見交流を行うことができる。

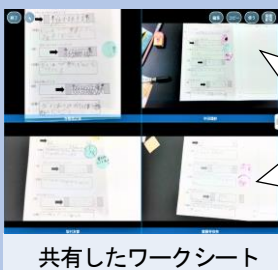
手立て1～3を毎時間繰り返す

自己有用感の高まり

手立て2 共有範囲を広げるためのICTの活用

○図や文章で予想を記述したワークシートを児童自身で写真に撮り、共有する

○他の班の友達の予想を確かめ、よいと思った考えに対してNiceシールを貼る。



Aさん：空気が押しつぶされそうな感じ



Bさん：行列がぎゅうぎゅうになっている



Bさんとは、同じ考えだけど、絵の表し方がNiceだな。

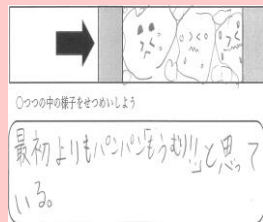


同じようにNiceと思った友達がたくさんいるな。いろいろな称賛の言葉があるな。

手立て1 自他を認め合うための場の設定

○Niceシールの活用で、承認・称賛を形にする

○承認・称賛のキーワードを多用することで、称賛・承認を言葉で伝える



シールをありがとう。自分の考えたことが認められて嬉しいな。

教室に掲示した承認・称賛のキーワード (一部)

- 自分では思い付かなかったことを考えていてNice
- 自分の意見とちがっていてNice
- とにかくすごくNice
- 一生懸命に考えていてNice

いろいろな伝え方があるな。

友達によさを伝えることができた。次は別の言葉で伝えてみよう。

①それぞれの児童が自分なりの予想を立てる。

②班の友達と予想を伝え合い、互いの考えのよさにに対してNiceシールを貼り合う。

児童の実態

- 自信をもって自分の考えを表現できる児童が少ない。
- 授業の中で、一人一人が大切な役割を担っていることを実感できていない児童もいる。

教師の願い

- 自他の考えを認め合ったり、共有するための表現力を身に付けてほしい。

【成果】 互いの考えに対してNiceシールを貼り合い、互いの考えを認め合うことで、自分の考えに自信をもって交流することができた。

【課題】 より一層認め合うことができるように、Niceシールを貼った理由等を伝える時間を確保することが必要である。